



(お知らせ)

27. 10. 9

統合幕僚監部

河野統合幕僚長のCHOD会議参加結果について

- 1 河野統合幕僚長は、9月28日から29日の間、ハワイにて開催された第18回「アジア・太平洋諸国参謀総長等会議（CHOD会議）」に参加した。今次CHOD会議は、ハリス米太平洋軍司令官が主催し、米国を含むアジア・太平洋諸国から25か国から参謀総長等が一堂に会し、地域の安全保障に関し、活発な意見交換が実施された。25か国の参加国は、以下のとおり。
日本、米国、豪州、中国、韓国、イギリス、フランス、カナダ、ニュージーランド、フィジー、インドネシア、ラオス、フィリピン、シンガポール、ベトナム、パキスタン、マレーシア、モンゴル、パプア・ニューギニア、ペルー、タイ、トンガ、ブルネイ、カンボジア、チリ
なお、統合幕僚長は、平成10年の第1回CHOD会議以来、継続的に参加し、河野統幕長のCHOD会議への参加は、昨年のブルネイに引き続き、2回目。
- 2 今次CHOD会議のテーマは、「安全保障上の課題共有への取組」であり、各参謀総長が海上安全保障、対テロ、サイバー・宇宙に関して、直接かつ忌憚のない意見交換を行った。また、期間中、河野統幕長は15か国の参謀総長等と合計17回の二国間・三国間会談を実施した。
- 3 特に、主催者であるハリス司令官との会談では、アジア・太平洋における共通の課題に日米が引き続き連携して取り組むことを確認した。また、中国及び韓国との二国間会談では、地域の平和及び安全のため、実務者レベルの対話を継続していくことが重要であるとの認識で一致した。
- 4 今次CHOD会議は、アジア・太平洋諸国CHODが一堂に会し、共通の安全保障上の課題について直接かつ忌憚なく意見を交わすことにより、参加国間の相互理解と信頼醸成に大きく寄与するものであった。